

いわき明星大学図書館報

Bulletin of the Iwaki Meisei University Library

時代に適合した図書館とは

図書館長 東 之 弘

工学部機械工学科の学生だった私にとって、大学図書館とは、Chemical Abstract で世界中の研究者の最新研究事例を、近刊および過去の洋雑誌から文献検索する情報収集の場所としか捉えていませんでした。歴史的な古書にも、最新の人気小説にもほとんど関心のない私は、結局、図書館所蔵の書籍のほとんどに一度も手を触れたことがなく、背表紙を眺めただけであったと思います。そんな私が、今年からなぜか図書館長になり、今まで気づかなかった図書館の変化に驚いています。

最大の驚きは、図書館が書籍を保管・活用する場所だけの目的ではなくなっていることに気づいたことです。いわき明星大学は、薬学部の開設と同時に、既設の図書館本館の右手に、「学習センター」なる斬新な建物が出来上がり、壁を取り壊して2つの建物を一体化しました。学生サービスを考え、学習する場所の機能を格段に増加させたわけです。図書館の主役が本から学生に変化したことを物語っていると思います。

さらに、「情報科学教育研究センター」の中核部が事務組織として図書館へ移動したことにより、「図書館」から「学術情報支援室」へと組織転換しています。確かに、我々に直結している洋雑誌のオンライン化は進んでおり、図書館に出向かずとも、最新の論文は読めるようになりました。書籍が「ハード」から「ソフト」に変わっています。研究室の端末が、世界の図書館に直結しているわけです。これ以外にも、館内にコンピュータが多数設置され、無線LANが張り巡らされています。学外への公開も積極的に行なわれています。

開学から27年が経過し、いわき明星大学の図書館は、時代に適合した図書館へ変貌していました。今後、さらなる時代の変化に適合した図書館づくりを進めていくことが、新しい図書館長の仕事かも知れません。ただ、最も時代に適合させなければいけないのは、図書館自体よりも、それを活用する大学教員かもしれません……

目 次

●時代に適合した図書館とは	図書館長 東 之弘	……… 1
●図書館雑感	人文学部 現代社会学科 教授 石丸純一	……… 2
●学術情報支援室から	学術情報支援室長 馬目高伸	……… 2
●いわき明星大学“学習センター”の取り組み		……… 3
●図書館利用状況		……… 4
●図書館トピックス		……… 4

図書館雑感

人文学部 現代社会学科 教授 石丸 純 一

私がいわき明星大学に赴任した時、非常に印象的だったのは、正門の正面に図書館が位置していることでした。これは、ここが学問の府であり図書館がその中核であるという理念の体現と言えます。大学図書館を大学や学部の付属施設のように考えるのが普通ですが、よく考えれば、本当は逆で、古代のアレキサンドリア図書館のように、図書館を中心にして学部・学科をその付属機関と位置づける方が知の殿堂には相応しいのかもしれませんが。爾来、本学の図書館には何かとお世話になっています。私の利用は専らレファレンスサービスですが、もうひとつ変わった利用をしています。それは精神衛生的利用で、疲れた時に書庫に入って書架の書籍を眺めるだけで心が休まるのです。

ところで、図書館の評価は何によってきまるのでしょうか。まず蔵書数が挙げられます。本学の図書館の蔵書数は約26万冊で、長い歴史を有する大学の規模には及びませんが、創立27年ほどの大学としてはかなり充実しているといえます。入館者数や貸出し件数もよく使われる指標で、特に公共図書館では重視されているようです。本学の図書館の年間入館者数は12万人、学生1人当たりの年間貸し出し数は8～9冊、相互貸借や文献複写の学生利用数も増えている

と聞いています。これはかなりの利用率といっ
てよいでしょう。

私が図書館に最も重要と思うのは、図書館員の質と数です。欧米では図書館司書は専門職として高い職業的地位を占めていますが、残念ながら我が国では司書資格はあっても、図書館司書が専門職として制度確立されていません。図書館員というと貸本屋のお姉さん程度の認識が一般的で、TVドラマなどでもメガネをかけた内向的な女性がよく登場します。どっこい、図書館員の仕事はそんなものではなく、知力、体力、忍耐力、人間力のいずれが欠けても勤まりません。特に図書館の最重要機能であるレファレンスサービスには不可欠な資質です。実に図書館の質は図書館員によって決まるといっても過言ではないでしょう。その点、本学の図書館は優れた図書館員がいてかなり厄介なレファレンスの要請にも対応してくれます。上記の実績も図書館員の日々たゆまぬ努力があるからと言えます。

ただ、私が本学に赴任した当時は専任の優秀な司書が3名配置されていましたが、退職等によって今は1人だけとなっています。このことを非常に残念に思っています。

学術情報支援室から

学術情報支援室長 馬 目 高 伸

平成22年にiPadが発売され、続いて電子ペーパーを使ったKindleが発売、一気に電子書籍が身近なものとなりました。

本学では、平成19年に学術情報支援室として図書館と情報センターが机を並べて仕事を始めていますから、この流れを受け止めるには、絶好のタイミングだったといえるでしょう。

実際に販売されている電子書籍のタイトルは著作権や流通などの問題もあり、すぐには揃いませんでしたが、ようやく電子媒体の書籍も増えてきたようです。

それでも、“紙”には心地よい安心感があるという人も多いかと思います。しかし、電子書籍には「絶版になることがほとんどない」、「場所を取らない」、「検索しやすい」という特長がありますから、紙と使い分けをしながら利用する機会は増えていくと思います。

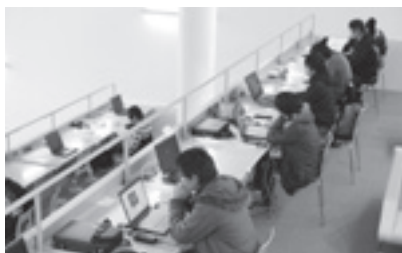
これから、電子書籍に囲まれて育った学生が入学してくることになります。学術情報支援室として、「上手に“紙”と“電子媒体”の使い分けができる」、そのようなサポートをしていきたいと思っています。

いわき明星大学 “学習センター” の取り組み

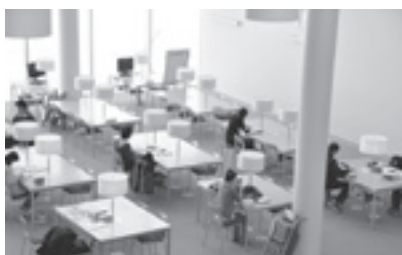
図書館の各階フロアとつながっている「学習センター」（地上3階）は、平成19年度にオープンしました。1時限目の講義が始まる時間よりも早く8時45分から、夜は最終講義や部活が終わる時間よりも遅く21時まで開放しています。学修の目的によってフロアを使い分け、授業の予習復習やレポート課題への取り組み友人との待ち合わせや読書の時間など、大学生活のさまざまな場面に利用できます。市民、高校生、中学生も利用対象者であることから「いわき明星大学学生専用席」を設けて館内のゾーニングと利用規則を平成24年度から明確化しました。今後、さらに学修と生活のリズムを保つ環境に取り組んでいきます。



(一部いわき明星大学学生専用席)



(いわき明星大学学生専用席)



(いわき明星大学学生専用席)



学修に集中しやすい環境

話し合いが可能な環境・リラックス環境

3F : SILENT FLOOR

見晴らしのよい3Fの「SILENT FLOOR」。静かな空間で学修する場所として最適です。この2・3Fでは、ペットボトルなど蓋の閉まるものが飲用できます。

2～3F : MY DESK I・II

ひとりで集中して勉強したいという方におすすめのステップフロア。パソコン、インターネットも常時利用できます。図書館2Fの「シラバスコーナー」も近く、授業前後の自修やレポート作成などに便利なエリアです。

2F : GROUP-DESK (2F 窓側)

友人と一緒に学修をしたり、課題に取り組んだりするときには、「GROUP-DESK」が最適です。デスクトップパソコン、ホワイトボードが用意されています。

2F : STUDIO-B (2F 階段裏側)

ホワイトボードや大型ディスプレイが完備された「STUDIO-B」は、ゼミ発表前の作戦会議や、プレゼンテーションの準備に最適です。利用したいときには事前予約もできますので、計画的なグループ学修も可能です。

1F : カフェ

1Fにあるカフェは、コーヒー、紅茶、ジュースなどドリンク類のほかに、スイーツメニューも豊富です。学修の合間のひと休みや、友人との待ち合わせ、研究室の仲間との語らいなど、学生のコミュニケーションエリアです。ここでは、携帯電話の利用も可能です。

利 用 者	：本学学生（学部生・大学院生・研究生・科目等履修生・聴講生） 教職員 その他（本学元教職員・同窓生・明星大学通信教育生・市民・近隣市町村・いわき市内高校生・父母会）		
入 館 者 数	：108,670人、1日平均 371人（年間開館 日数：293日）		
貸 出 冊 数	：17,585冊	内 訳	（学生 13,640冊・教職員 2,097冊・その他 1,848冊）
レファレンス	：学内 494件	内 訳	（文献調査 99件・事項調査 4件・利用指導 281件・その他 110件）
レファレンス	：学外 文献複写	内 訳	（依頼 1,304件・受付 190件）
	現物貸借	内 訳	（依頼 67件・受付 103件）
市民利用登録数	：262人	内 訳	（男 153人・女 109人）

図書館トピックス

1. MY DESK の学習環境がパワーアップ

学習センターステップフロアの MY DESK（本学学生専用席）のノートパソコンをデスクトップパソコンにかえ、コンピュータ自習室と同じ環境になり学習環境がさらにパワーアップしました。

2. 七夕飾りを行いました



学習センター1階で、本学学生や市民、高校生たちが短冊に願い事を書いて、大きな笹2本に飾り付けをしました。願い事が叶いますよう神社に短冊を奉納しました。

3. 「文化発表会」の開催会場になりました

図書館・学習センターを会場に、文化系の学友団体が日ごろの活動内容を展示・発表する「文化発表会」（主催/学友会文化団体連盟本部）を7月1日(月)～7月12日(金)に開催しました。

参加団体：■ Comic Art 部 ■ 美術部
■ 写真部 ■ 文芸同好会 ■ 茶道部

4. 第4回選書ツアーを開催

7月に学生の視点で図書資料を直接書店で選書してもらう「選書ツアー」を開催しました。このツアーは今年で4年目になる好評の企画です。合計47冊が選書されました。参加学生は、次の図書館業務の一部を体験しました。

図書資料の選書 → 蔵書の確認 →

図書資料の発注 → 図書資料紹介ポップ作成

図書館での手続き終了後、学習センター2階に「図書館選書ツアーコーナー」を設置し、図書資料と紹介ポップを卓上に展示しています。資料貸出中の場合は予約が可能です。

5. 「新島八重」関連図書を展示中

図書館2階展示コーナーに、本学所蔵の「新島八重」、その家族や会津藩などの関連図書を展示しています。

6. 図書紹介ポップを募集しています

図書館に所蔵されている図書を対象に、学生・市民・教職員による「おすすめの1冊」の紹介ポップを募集中です。第4回選書ツアーの選書図書ポップとは別に、図書館掲示板（1～2階おどり場）に紹介しています。

7. オープンキャンパス・学園祭

「図書リサイクルフェア2013」開催

図書館では、廃棄手続き済みなどの図書、雑誌を提供する「図書リサイクルフェア2013」を開催します。既に6月30日(日)、7月27日(土)・28日(日)開催のオープンキャンパスに実施しました。引き続き、次の通り開催します。

■ 日程

- ・オープンキャンパス 9月1日(日)
- ・学園祭 10月19日(土)・20日(日)

■ 場所 図書館1階・学習センター1階

■ 対象者/数量

- ・オープンキャンパス：参加者/1人5冊まで
- ・学園祭：市民、本学教職員 /1人10冊まで